

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	解剖生理学 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	前期	教室名	301
担 当 教 員	太田 珠代 ほか	実務経験と その関連資格	小児系医療機関で、理学療法士として運動療法等を提供していた。協会活動においてスポーツ分野にも携わる。認定理学療法士(学校教育)を取得。			
<b>《授業科目における学習内容》</b>						
人体の構造と機能を有機的に繋ぎ、系統的に各器官の位置関係、形状、内部構造、そして器官の機能、人体における役割を系統的に学ぶ。						
<b>《成績評価の方法と基準》</b>						
出席および課題提出状況、筆記試験で総合的に評価する。						
<b>《使用教材(教科書)及び参考図書》</b>						
系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 医学書院 系統看護学講座準拠 解剖生理学ワークブック						
<b>《授業外における学習方法》</b>						
解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。						
<b>《履修に当たっての留意点》</b>						
解剖生理学ワークブックを事前にしておいて下さい。講義範囲はテキストを読んでおいて下さい。講義終了毎に確認テスト又は小レポート提出があります。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	解剖生理学で何を学ぶのか明確にすることができる。 人体の構造と区分、部位と器官について説明することができる。	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート	
		各コマにおける授業予定	人体の構造と機能について、解剖学と生理学の歴史と現在、形からみた人体 (学内:PT教員)			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	細胞の構造と機能、細胞がつくる組織、動物機能と植物機能の器官について説明することができる	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート	
		各コマにおける授業予定	細胞の構造、細胞を構成する物質とエネルギーの生成、細胞膜の構造と機能、細胞の増殖と染色体、分化した細胞がつくる組織、機能からみた人体 (学内:PT教員)			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨格、関節、骨格筋について説明できる。	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート	
		各コマにおける授業予定	骨格とは、骨の連結、骨格筋 (学内:PT教員)			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	背部・胸部・腹部の筋について説明できる。	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート	
		各コマにおける授業予定	体幹の骨格と筋			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	上肢の骨格と筋について説明できる。	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート	
		各コマにおける授業予定	上肢の骨格と筋			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	下肢の骨格と筋について説明できる。	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート
		各コマにおける授業予定	下肢の骨格と筋①		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	下肢の骨格と筋について説明できる。	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート
		各コマにおける授業予定	下肢の骨格と筋②		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	頭頸部の骨格と筋について説明できる。	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート
		各コマにおける授業予定	頭頸部の骨格と筋②		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	口腔・咽頭・食道・胃の構造と機能について説明できる。	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート
		各コマにおける授業予定	口の構造と機能、咽頭と食道の構造と機能、胃の構造と機能		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	小腸・大腸の構造と機能、栄養素の消化と吸収について説明できる。	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート
		各コマにおける授業予定	小腸・大腸の構造と機能、栄養素の消化と吸収		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	脾・肝・胆・腹膜の構造と機能について説明できる。	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート
		各コマにおける授業予定	脾・肝・胆・腹膜の構造と機能		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸器の構造と機能について説明できる。	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート
		各コマにおける授業予定	呼吸器の構造、呼吸		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	血液の組成と機能について説明できる。	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート
		各コマにおける授業予定	血液の組成と機能、赤血球、白血球、血小板、血液型(落合部長)		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	心臓の構造と心臓の拍出機能について説明できる。	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート
		各コマにおける授業予定	心臓の構造、心臓の興奮とその伝播		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	血管の構造・肺循環・体循環が説明できる。	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート
		各コマにおける授業予定	末梢血管系の構造、リンパとリンパ管 (落合部長)		